

大阪府景気観測調査結果

2019年4～6月期

大阪産業経済リサーチ&デザインセンター

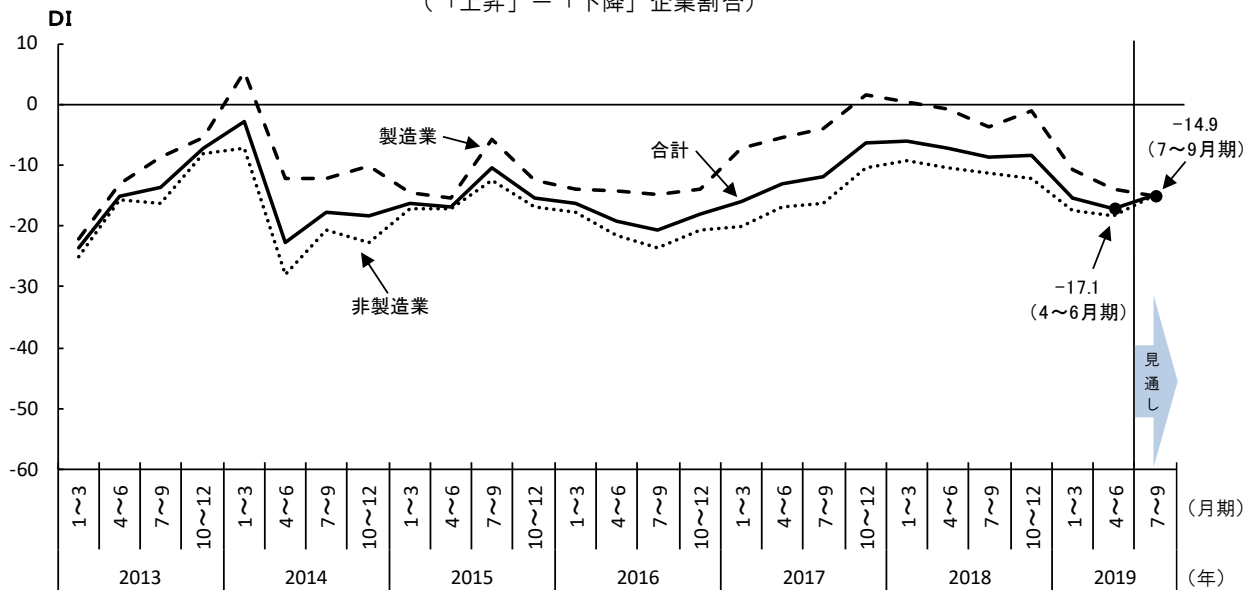
《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html> 》

大阪府商工労働部（大阪産業経済リサーチ&デザインセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。2019年4～6月期の調査結果の概要は次のとおりです。

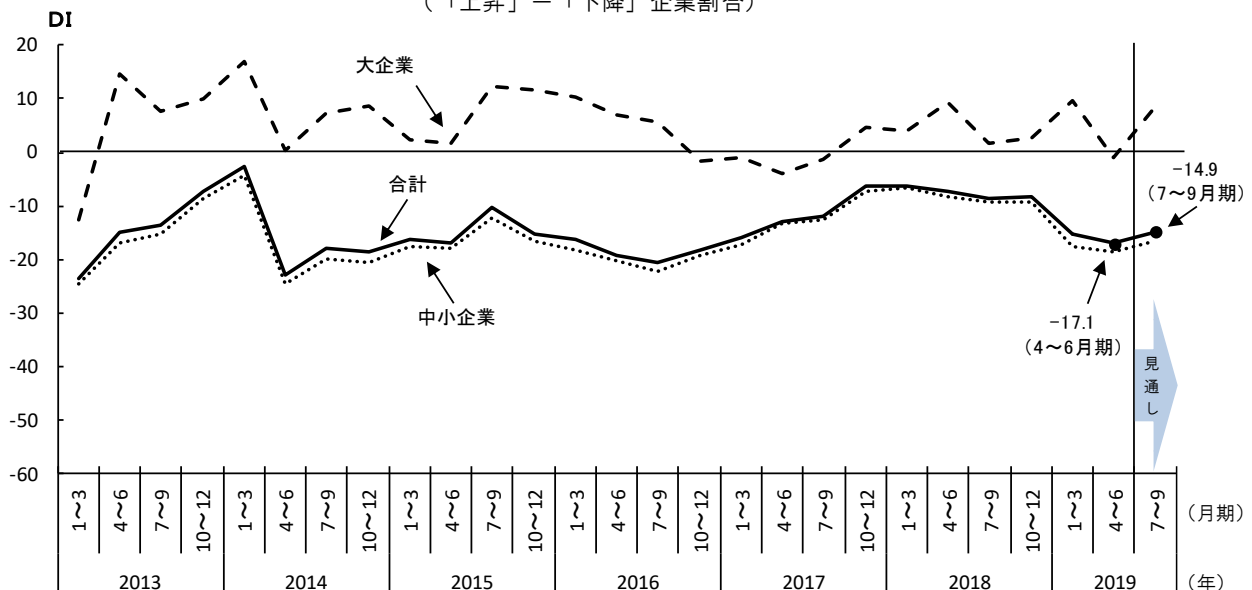
【景気は、踊り場にある】

1. 今期の業況判断DIは製造業・非製造業ともに悪化し、全産業では2期連続で低下した。

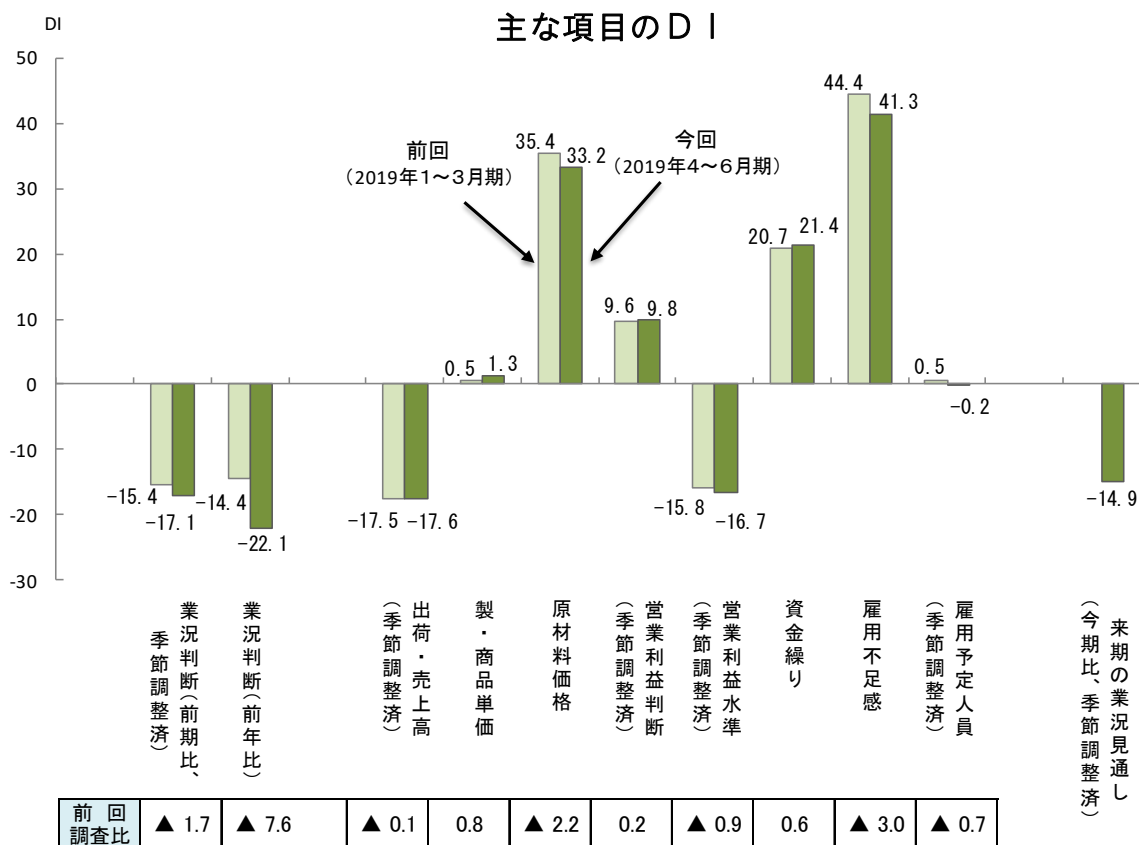
業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、製造業・非製造業別）
（「上昇」－「下降」企業割合）



業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）
（「上昇」－「下降」企業割合）



2. 主な項目のDIをみると、製・商品単価や資金繰りなどは前期に比べてやや改善したが、原材料価格が高水準であることに加え、営業利益水準DIが横ばいで推移し、雇用不足感も前期比で減少するなど、景気は踊り場にある。



※DIは「上昇又は増加等の企業割合(%)」から「下降又は減少等の企業割合(%)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加・黒字基調・順調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったことを示す。

3. 2019年7~9月期の業況判断DIは、全体では小幅改善の見通しも、先行きは予断を許さない状況にある。

業況判断DIの推移

年	2017				2018				2019		
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
製造業	-7.3	-5.4	-3.9	1.5	0.5	-0.7	-3.7	-1.1	-10.6	-14.1	-15.1
非製造業	-20.1	-16.7	-16.3	-10.5	-9.3	-10.6	-11.4	-12.2	-17.5	-18.4	-14.8
大企業	-1.0	-4.0	-1.4	4.7	4.1	9.4	1.5	2.6	9.6	-0.9	8.2
中小企業	-17.1	-13.3	-12.5	-7.2	-6.7	-8.4	-9.2	-9.3	-17.7	-18.5	-16.7
合計	-15.9	-13.0	-12.0	-6.3	-6.1	-7.3	-8.7	-8.5	-15.4	-17.1	-14.9

来期
見通し